

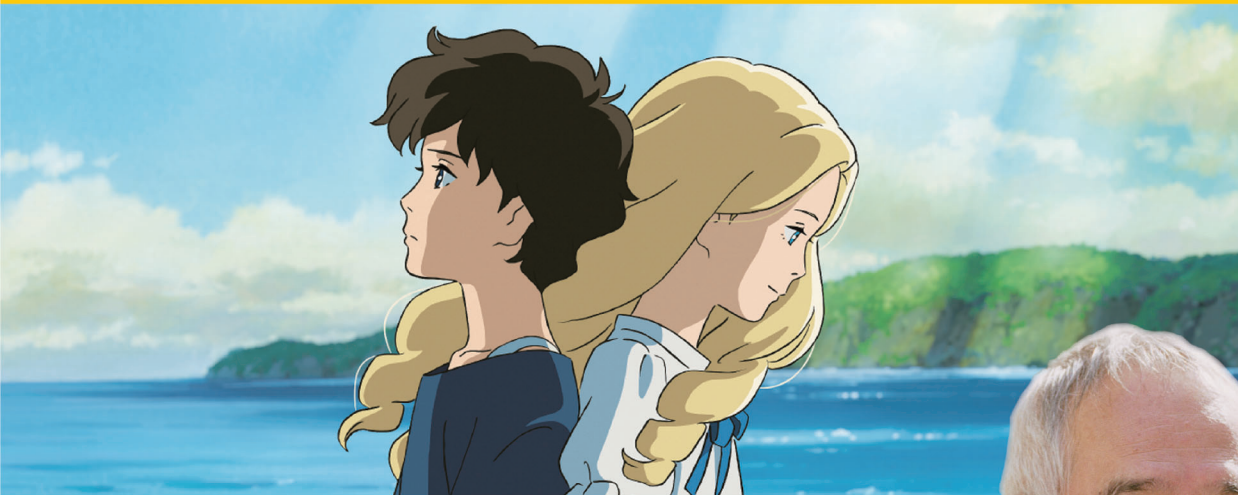


AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY

日本文学部「日本文化横断」プログラム提携企画

30 YEARS OF STUDIO GHIBLI

スタジオジブリの30年



最新作「思い出のマーニー」(公開中) ©2014 GNDHDDTK

愛知県立大学 平成26年度 学術講演会

来年で、設立から30周年を迎えるスタジオジブリ。その作品の数々はいかにして、今日の日本における「最後の国民文化」となってきたのか。節目を迎えたいま、いかにして次の世代にその歴史を継承しようとしているのか。名古屋市ご出身でもあるプロデューサー・鈴木敏夫氏を愛知県立大学にお招きして、お話を伺います。

| 学術講演会 | 参加費無料 | 申込必要 | 700名(先着順) |

2014年10月3日(金) 14:30~16:00

会場 愛知県立大学 長久手キャンパス講堂

講師

鈴木 敏夫氏(株式会社スタジオジブリ代表取締役プロデューサー)

募集期間:平成26年9月30日(火) 15:00まで

申込方法:Eメールあるいは往復はがき(30日必着)

- 応募者氏名(ふりがな)、●郵便番号、●住所、
- 電話番号(日中のご連絡先)、●学術講演会希望 と明記

PROFILE

1948年、名古屋市生まれ。72年慶応義塾大学文学部卒業後、徳間書店に入社。「週刊アサヒ芸能」を経て、アニメーション雑誌「アニメージュ」の創刊に参加。副編集長、編集長を務めるかたわら、高畑勲・宮崎駿作品の製作に関わる。85年にはスタジオジブリの設立に参加。89年からスタジオジブリの専従に、以後、「おもひでぼろぼろ」(91年)、「平成狸合戦ぽんぽこ」(94年)、「もののけ姫」(97年)、「千と千尋の神隠し」(01年)、「崖の上のポニョ」(08年)など、「風立ちぬ」(13年)までの全劇場作品及び、三鷹の森ジブリ美術館(01年開館)のプロデュースを手がける。「かぐや姫の物語」(13年)では企画を担当。スタジオジブリ最新作「思い出のマーニー」(2014年7月19日公開)では製作(ゼネラルマネージャー)を務める。また、07年からはTOKYO FM「鈴木敏夫のジブリ汗まみれ」のパーソナリティを務める。著書は、「仕事道楽 スタジオジブリの現場」「ジブリの哲学—変わるものと変わらないもの—」(岩波書店)、「風に吹かれて」(中央公論新社)など多数。これまで藤本賞、山路ふみ子文化賞、エランドール賞プロデューサー賞、渡辺晋賞、映画の日特別功労賞、芸術選奨文部科学大臣賞、全広連日本宣伝賞正力賞などを受賞。また、12年にアメリカのロードアイランドスクールオブデザイン(RISD)より名誉博士号を授与された。



歴史と継承

お問い合わせおよびお申込み先

〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3

愛知県立大学 研究支援・地域連携課

電話番号:0561-76-8843(直通) / Eメール:renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

交通アクセス

- リニモ「藤が丘」駅から八草行き「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約3分
 - リニモ「八草」駅から藤が丘行き「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約3分
- ※ 駐車スペースに限りがありますので、公共交通機関でご来場ください。

